

(別添1)

No.	9
策定年月	令和3年6月
見直し年月	令和4年6月

水田農業高収益化推進計画

栃木県

1. 水田において高収益作物・子実用とうもろこしの導入を図る目的

少子高齢化や食の多様化等により米の消費量が年々減少する中、農業者の所得向上を図っていくには、本県の耕地面積の8割を占める水田を有効活用し、需要に応じた米生産に加え、収益性の高い園芸作物や国産ニーズの高まっている飼料作物等への転換をこれまで以上に進めていく必要がある。

このため、県では、平成29年に「園芸大国とちぎづくり」推進方針、令和3年に「栃木の需要に応じた米づくり推進方針」を策定し、県と関係機関・団体が一体となって、需要に応じた米生産に加え、園芸や飼料作物等への転換を推進している。

特に、本県の園芸については、競争力のある大規模な露地野菜の産地づくりやICT・AIを活用した施設園芸の高度化の取組などを支援し、畜産については、飼料作物の生産拡大やコントラクター組織の機能強化の取組などを推進している。

その結果、水田での露地野菜や飼料作物の作付面積が拡大するなど一定の成果が出ている一方、機械化や分業化などの条件整備が不十分であることや農地の利用調整・排水対策、流通・販路対策等が進んでいないことなどから、今後更なる生産拡大を図っていくには、産地の実情に応じた課題解決を進めていく必要がある。

また、令和3年2月に策定した県の「とちぎ農業未来創生プラン」においても、園芸産出額、畜産産出額ともに令和7年に1,230億円に増加させることを目標としており、国の支援策等を活用し、収益性のある園芸作物や国産需要の高まっている子実用とうもろこしなどの飼料作物の増産をより一層推進していく必要がある。

2. 目標

(1) 推進方針

本県は「園芸大国とちぎづくり」推進方針や「栃木の需要に応じた米づくり推進方針」に基づき、耕地面積の8割を占める水田を活用することで需要に応じた米生産に加え、園芸や飼料作物等への転換を図ることとしている。また、県の「とちぎ農業未来創生プラン」においても、園芸産出額、畜産産出額ともに令和7年に1,230億円に増加させることを目標としている。目標の実現に向け、県と市町や農業団体等を構成員とする支援体制を整備し、高度な施設園芸の展開や水田を活かした土地利用型園芸、飼料作物の作付拡大を推進する。

具体的な品目として、当面は、にら、なし、にんじん、子実用とうもろこしを推進品目として位置づけ、各地域で生産拡大を図り、産地を創出することとする。また、当該産地においては、県、市町、JA等が一体となって推進し、地域における実行性を確保するとともに、更なる産地の拡大を目指す。

(2) 推進品目

品目名	用途	露地／施設	選定理由	目標									
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		その他			
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値		
にら	生食用	施設	ウォーターカーテンと「ゆめみどり」による連続収穫技術の導入や出荷調整の機械化などで、単収向上や規模拡大が可能であるとともに、県全体の産出額が50億円を超えており、全農とちぎを通した安定的な出荷体制が整備されている。	1. 15 ha (令和2年)	2 ha (令和7年)	2,749 kg/10a (令和2年)	2,755 kg/10a (令和7年)	20,348 千円 (令和2年)	35,429 千円 (令和7年)			(令和0年)	(令和0年)
なし	生食用	露地	本県果樹の主力品目であり、他産地の出荷量の減少などから、近年高単価で取引され、需給が安定しているとともに、早期成園化技術の導入等により、今後の生産拡大が見込める。	0 ha (令和3年)	6.79 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和3年)	2,710 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和3年)	65,340 千円 (令和8年)			(令和0年)	(令和0年)
にんじん	加工・業務用	露地	播種や収穫など機械化作業等による規模拡大が可能であるとともに、他品目の栽培と組み合わせることで、経営の安定化につなげることができる。	0 ha (令和3年)	0.4 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和3年)	2,500 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和3年)	400 千円 (令和8年)			(令和0年)	(令和0年)
子実用とうもろこし	飼料用	露地	全国の濃厚飼料自給率は12%と低い状況であり、配合飼料価格が高騰する中、国産飼料に対する需要が増大しているため、本県においても一層の増産体制を整備していく必要がある。	0 ha (令和3年)	3.00 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和3年)	530 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和3年)	556,500 円 (令和8年)			(令和0年)	(令和0年)

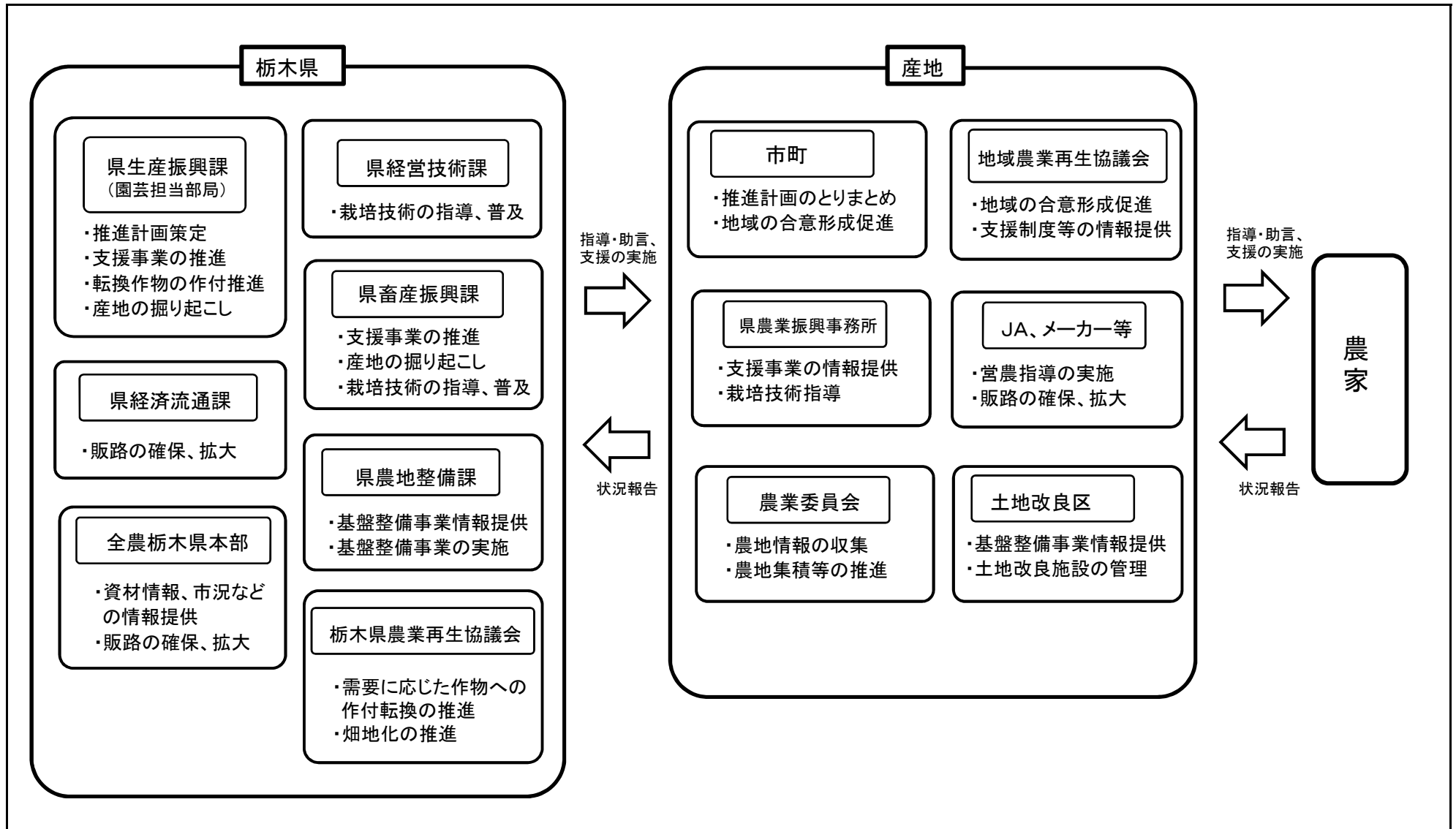
※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合、項目を分けて記載する。

※ 「選定理由」欄には、①出荷先が確保されているか、②既存産地等との競合により需給バランスに乱れが生じないか、③ロットは確保できないなどの観点にも留意して記載する。（関係資料の添付でも可。また、審査に当たって追加資料の提出を求めることがある。）

※ 設定した目標値の妥当性が分かる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

3. 推進体制及び役割



4. 目標達成に向けた取組

(1) 品目共通の取組

JAの部会や農業法人、集落営農組織等に対して、水田農業高収益化に係る国や県の施策等を周知することによって、水田で園芸作物や飼料作物の生産拡大に取組む産地の創出や生産拡大を推進する。

(2) 推進品目ごとの取組

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
にら	出荷調整作業の機械化や新規栽培者の確保・育成などを推進	ウォーターカーテンと本県開発品種の「ゆめみどり」による連続収穫技術や灌水設備の普及推進	品質向上や加工業務用も組み合わせた販路の確保を推進	
なし	早期成園化技術(省力樹形)を活用した改植や新植の推進、収益性の高いモデル経営体等の育成	栽培技術や経営指導など新規就農者等の技術習得のための取組支援	国内の新たな販路拡大や輸出拡大に向けた取組を推進	
にんじん	機械化一環体系の導入や新規栽培者、労働力の確保等を推進	ほ場の排水対策や雑草対策等の徹底、播種や収穫などの適期作業等の普及推進	現地検討会等による品質・単収向上等を推進	
子実用とうもろこし	収穫機械の導入や乾燥・貯蔵施設の整備、新規栽培者の確保・育成を推進	ほ場の排水対策や土壌条件に応じた施肥の推進	生産の効率化による経費削減や販路開拓による販売価格の向上を推進	

5. 産地推進計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	備考
1	鹿沼市	鹿沼市	
2	栃木市農業再生協議会	栃木市	
3	芳賀町	芳賀町	


※ 各主体が作成した「産地推進計画」を添付するものとする。

(別添2)

No.	9-001
策定年月	令和3年5月
見直し年月	令和 年 月

水田農業高収益化推進計画 鹿沼市上石川にら産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	鹿沼市										
構成機関・団体名及び役割分担	<table border="1"><tr><td>鹿沼市</td><td>鹿沼市再生協議会</td><td>上都賀農業振興事務所</td><td>上都賀農協</td><td>(株)上原園</td></tr><tr><td>・再生協議会、県振興事務所と連携し、産地推進計画の推進</td><td>・産地推進状況のとりまとめ</td><td>・市及び再生協議会への助言・指導</td><td>・にらの集荷 ・販路の拡大</td><td>・加工用にらの集荷、加工</td></tr></table> <p style="text-align: center;"></p>	鹿沼市	鹿沼市再生協議会	上都賀農業振興事務所	上都賀農協	(株)上原園	・再生協議会、県振興事務所と連携し、産地推進計画の推進	・産地推進状況のとりまとめ	・市及び再生協議会への助言・指導	・にらの集荷 ・販路の拡大	・加工用にらの集荷、加工
鹿沼市	鹿沼市再生協議会	上都賀農業振興事務所	上都賀農協	(株)上原園							
・再生協議会、県振興事務所と連携し、産地推進計画の推進	・産地推進状況のとりまとめ	・市及び再生協議会への助言・指導	・にらの集荷 ・販路の拡大	・加工用にらの集荷、加工							

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
にら	生食用	施設	鹿沼市上石川	1.15 ha (ハウス面積) 2年1期のため、面積の1/2が毎年の収穫面積 (令和2年)	2 ha (ハウス面積) 2年1期のため、面積の1/2が毎年の収穫面積 (令和7年)	2,749 kg/10a (令和2年)	2,755 kg/10a (令和7年)	20,348千円 (税抜き) (令和2年)	35,429千円 (税抜き) (令和7年)	(令和 年)	(令和 年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。


※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	9-002
策定年月	令和4年6月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
栃木市大平地区子実用とうもろこし産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	栃木市農業再生協議会				
構成機関・団体名及び役割分担	栃木市 ・取組拡大に向けた産地推進計画の推進	栃木市農業再生協議会 ・産地推進状況のとりまとめ	栃木県下都賀農業振興事務所 ・農業者への助言・指導 ・生産・利用拡大に向けた実証・支援 ・生産・利用体制の構築に向けた調整・普及啓発	渡辺養鶏所 ・受入トウモロコシの配合調整 ・給与実証	(株)勅使川原精麦所 ・トウモロコシの受入・保管・加工(粉碎) ・加工処理後のトウモロコシ保管・販売
					

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
子実用とうもろこし	飼料用	露地	栃木市大平地区	0 ha (令和3年)	3 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和3年)	530 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和3年)	556,500 円 (令和8年)	現状値 (令和〇年)	目標値 (令和〇年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料(県や地域の統計など)を添付すること。

(別添2)

No.	9-003
策定年月	令和4年5月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画 芳賀町産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	芳賀町																								
構成機関・団体名及び役割分担	<table border="1"><tr><td>芳賀町</td><td>芳賀町農業再生協議会</td><td>栃木県芳賀農業振興事務所</td><td>はが野農業協同組合</td><td>芳賀町農業委員会</td><td>芳賀町土地改良区</td></tr><tr><td>・計画作成のとりまとめ</td><td>・水田活用直接支払交付金の関係事務</td><td>・土地改良事業の実施</td><td>・販売先の確保</td><td>・農地情報の収集</td><td>・土地改良事業の推進</td></tr><tr><td>・地域の合意形成の推進</td><td></td><td>・計画作成支援</td><td>・支援事業の実施</td><td>・農地集積・集約の推進</td><td>・基盤整備事業の情報収集</td></tr><tr><td>・支援事業の情報提供、実施</td><td></td><td>・支援事業の実施</td><td>・営農指導の実施</td><td></td><td>・土地改良施設の管理</td></tr></table> <p style="text-align: center;">↑ ↓ 農家</p>	芳賀町	芳賀町農業再生協議会	栃木県芳賀農業振興事務所	はが野農業協同組合	芳賀町農業委員会	芳賀町土地改良区	・計画作成のとりまとめ	・水田活用直接支払交付金の関係事務	・土地改良事業の実施	・販売先の確保	・農地情報の収集	・土地改良事業の推進	・地域の合意形成の推進		・計画作成支援	・支援事業の実施	・農地集積・集約の推進	・基盤整備事業の情報収集	・支援事業の情報提供、実施		・支援事業の実施	・営農指導の実施		・土地改良施設の管理
芳賀町	芳賀町農業再生協議会	栃木県芳賀農業振興事務所	はが野農業協同組合	芳賀町農業委員会	芳賀町土地改良区																				
・計画作成のとりまとめ	・水田活用直接支払交付金の関係事務	・土地改良事業の実施	・販売先の確保	・農地情報の収集	・土地改良事業の推進																				
・地域の合意形成の推進		・計画作成支援	・支援事業の実施	・農地集積・集約の推進	・基盤整備事業の情報収集																				
・支援事業の情報提供、実施		・支援事業の実施	・営農指導の実施		・土地改良施設の管理																				

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
なし	生食用	露地	芳賀町稲毛田	0 ha (令和3年)	6.79 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和3年)	2,710 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和3年)	65,340千円 (令和8年)		
にんじん	加工・業務用	露地	芳賀町稲毛田	0 ha (令和3年)	0.4 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和3年)	2,500 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和3年)	400千円 (令和8年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。